

子供のために

# 先生が気づいて動ける チェックリスト

発達に関するチェックリスト（年長児編）



子供のことが気になったら使ってみましょう ▶▶▶

このチェックリストは…

- 障害の有無を判断するためや医療機関への受診を促すためのものではありません。
- 把握した実態は、現時点のもので、子供の成長は著しいため、変化する可能性があります。

# 「発達に関するチェックリスト」で子供を理解！

保育現場や相談会等での行動観察から、担任や観察者が回答します。

## 〈実施手順〉

### 質問項目をチェック

・○、△、無記入の3段階で回答します。



### 特記事項を記入

・質問項目以外に気がかりな言動や行動がある場合に記入します。



### 教育的対応を検討

・○や△が多く付いた領域は『支援が必要』と捉えます。



保護者や関係機関と連携して、必要な支援を始めましょう

チェックの数が少ない場合でも  
担任が気になるときや  
本人が困っていると思われる場合は  
教育的対応を検討するといよいよ



感覚の過敏性は個人差が大きいので  
あせらず本人や保護者と相談して  
支援を考えましょう



### 在籍園は…

- ケース会議を開き、具体的な支援内容、方法を共有・実践する。
- 保健センター等へ、相談や支援要請をする。
- 地域のセンター校（特別支援学校）に相談・支援を要請する。
- 地区相談会や総合教育センター等での相談の活用を保護者に勧める。
- 子供の実態や効果のあった支援を小学校に引き継ぐ。

### 支援を考えるときには

特別支援教育指導資料第102集

「特別支援教育学びQ&A(指導事例集)」(平成28年3月発行)が  
参考になります。

学びQ&A



富山県総合教育センターのHPから閲覧・ダウンロードできます。  
<http://center.tym.ed.jp/>



## 発達に関するチェックリスト（年長児編）

クラス		氏名		記入者		記入日	
-----	--	----	--	-----	--	-----	--

回答欄：よくある…○、ときどきある…△、当てはまらない…無記入

質問項目		回答欄	
社会性	1	同年齢の子供と、カルタや鬼ごっこ等、ルールのある集団遊びをすることが難しい。	
	2	欲しいものがあるときや手伝ってほしいときに、自分の思いを表すことが難しい。	
	3	同年齢の子供が遊んでいても興味を示さず、一人で遊んでいる。	
	4	友達とイメージを共有してごっこ遊びをすることが難しい。	
	5	相手が指さしても見ようとしない。	
こだわり・感覚の過敏性	1	同年齢の子供に比べて、特定のものに強く興味を示す。(カレンダー、図鑑、車等)	
	2	予定の変更や新しい場面で、不安になったり、パニックを起こしたりする。	
	3	自分のやり方や順番にこだわり、変更することを嫌がる。	
	4	ゲーム等で点数や勝ち負けにこだわり、負けそうになると機嫌が悪くなる。	
	5	雑踏等、人が大勢居る場所や特定の音を嫌がる。特定の服以外着ようとしない。	
	6	絵の具やのり、砂等で手や体が汚れることを極端に嫌がる。	
不注意	1	他の音や物に気を取られて、注意がそれてしまう。	
	2	一つの遊びに集中することができない。	
	3	一斉の指示を聞く事が難しい。	
	4	ぼんやりしていることがある。	
多動性・衝動性	1	相手の話に興味をもつと、すぐに割り込んでしまう。	
	2	嫌なことをされたと思うと、すぐに手を出してしまう。	
	3	力の加減ができず、物を壊したりけがをしたりする。	
	4	座っている間、体の一部を常に動かしている。	
理解力	1	片付ける場所や集まる場所を言葉で伝えても分からない。	
	2	遊びのルールや活動の手順を覚えることができない。	
	3	自分の名前を平仮名で書くことができない。	
	4	具体物を10まで数えることができない。	
	5	洋服の前後が分からない。	
不器用さ等	1	鉛筆の三指持ちができない。	
	2	はさみで円を切り抜くことが難しい。	
	3	動くボールを目で追ったり、ボールの動きに合わせて手を出したりできない。	
	4	ボタンやファスナーの留めはずしが難しいなど着替えに時間がかかる。	
特記事項	(例) 音の間き間違いがある。スキップができない。偏食がある。会話が成立しにくい。		

## 【 指導・支援の例 】「学び Q&A」より

「多動性・衝動性2 嫌なことをされたと思うと、すぐに手を出してしまう」  
にチェックが付いたら…

学び Q&A  
P.6



### ◆ 推測できるつまずきの要因

- A 怒りの感情を抑えられない
- B 気持ちをうまく言葉で言い表せられない
- C うまくいかない結果を受け入れられない

### ◆ 指導・支援の例

**Aへの対応** 感情が爆発する前に、一呼吸おく練習をさせる

- ・ 10までカウントする 深呼吸する など

**Bへの対応** 言葉で気持ちを伝える練習をさせる

- ・ 「やめて」と言葉で言うように指導する など

**Cへの対応** 子供の気持ちを受容し、どうすればいいか一緒に考える

- ・ 「嫌だったんだよね」と伝える など

「理解力1 片付ける場所や集まる場所を言葉で伝えてもわからない」

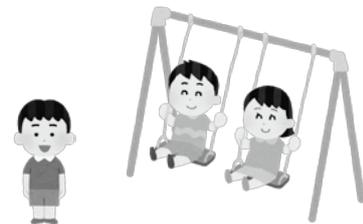
「理解力2 遊びのルールや活動の手順を覚えることができない」

「こだわり・感覚の過敏性4 ゲーム等で点数や勝ち負けにこだわり、負けそうになると機嫌が悪くなる」  
にチェックが付いたら…

学び Q&A  
P.11

### ◆ 推測できるつまずきの要因

- A 並ぶ方向や位置が分からない
- B 順番やルールを理解することが難しい
- C 一番にこだわる傾向がある



10かい こうたい

### ◆ 指導・支援の例

**Aへの対応** 列の方向や並ぶ場所を明確に示す

- ・ 決まった友達を手掛かりに「〇〇ちゃんの後ろ」を教える など

**Bへの対応** 具体的に順番や遊びのルールを示す

- ・ 「足ピタ」「10回でこうたい」など端的な言葉で伝える など

**Cへの対応** 事前に守る内容を約束する

- ・ 保育者が側にいて、「～だったね」とするべきことを確認する など